

8月18日

## ヘレナ

Saint Helena (250-330)

～ローマ皇帝コンスタンティヌスの母～



Saint Helena  
of Constantinople  
by Cima da Conegliano

(1495)

National Gallery of Art,  
Washington D.C.

小アジアのドレバナム出身で宿屋の主人の娘として生まれたと伝えられる。コンスタンティヌス・クロルスの妻となり、コンスタンティヌスを生むが、292年夫が政略結婚を強制され離婚された。のち、306年にコンスタンティヌスが皇帝となつてからは帝母アウグスタとして敬われる。

312年にキリスト教徒となり、コンスタンティヌスに多大な影響を与えた。彼はキリスト教に寛大な政策を取るようになり、ヘレナもキリスト教を保護し、力の及ぶ限り教会に助力した。おしみなく財産を投げ出して貧しい人を助け、ローマに聖十字架聖堂を建て、一般信者にまじって礼拝に出席したといわれる。

324年、老齢にてエルサレムを訪れ、長期間滞在して貧しい人々を救済し、オリブ山とベツレヘムに聖堂を建てた。主の十字架をぜひ見たいと熱望し、326年、カルバリの丘一帯を発掘させ、ついに三つの十字架とピラトがつけさせたという「ユダヤ人の王、ナザレのイエスと記した札を発見したと伝えられる(カイサリアのエウセビオス、アンブロシウスが言及)。また、3本の釘もコンスタンティンに送り届けられ、1本は彼の兜に、あと

2本は彼の馬の馬具につけられたという。

コンスタンティノポリスに戻つた後、330年に逝去し、ローマの聖十字架教会に眠る。ヘレナは、ローマ、コンスタンティノポリス、パレスティナにおける教会建築に影響を及ぼした。中世にはイギリスと結び付けられ、全く別人の既婚女性と同一視された。(M)

<特禱>

全能の神よ、あなたは聖徒たちの愛と献身を通して教会を築き上げられました。わたしたちはみ前に記念する主のしもべ、ヘレナのために感謝いたします。どうかその模範に従うわたしたちを聖霊によって強め、今もこの世にあって聖徒たちとともにあなたの栄光を見て楽しむことができますように、み子イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン